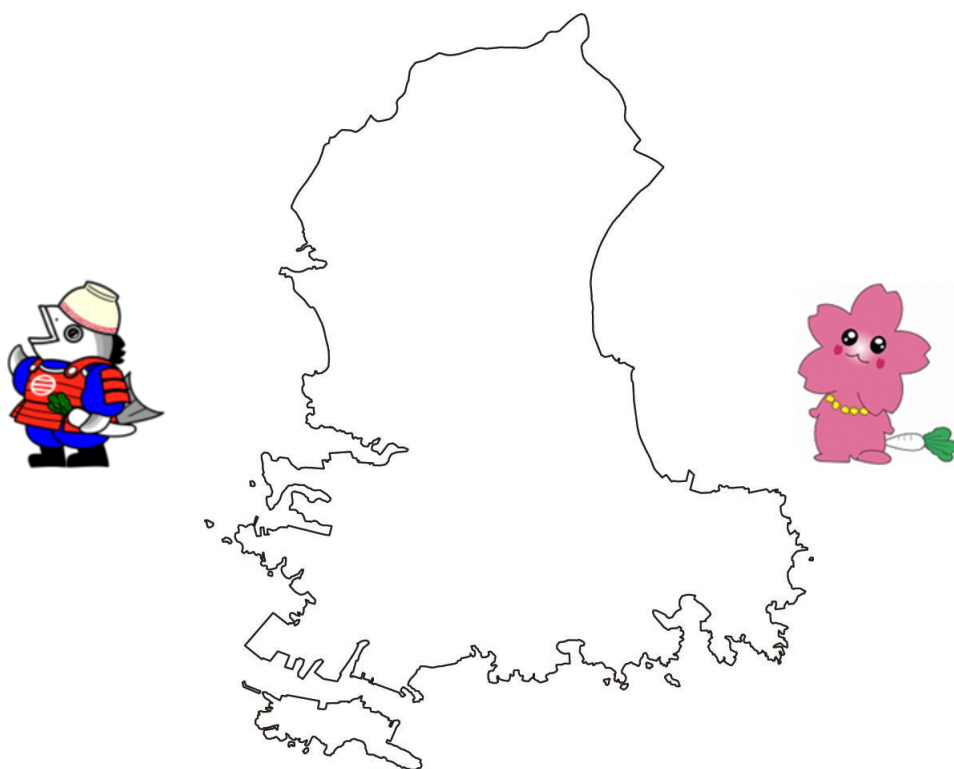


令和2年度（令和元年度実施事務事業）
三浦市教育委員会所管事務事業
点検・評価報告書



令和2年8月

三浦市教育委員会

人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら

目 次

はじめに	- 1 -
I 点検・評価の概要.....	- 2 -
1 趣旨	- 2 -
2 対象事務事業	- 3 -
(1) 教育委員会所管事務.....	- 3 -
(2) 点検・評価の対象とする事務事業.....	- 4 -
3 点検・評価の手法	- 7 -
(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表	- 7 -
(2) 点検・評価の手順	- 7 -
(3) 有識者会議	- 9 -
4 総合所見	- 9 -
II 点検・評価結果	- 10 -
1 教育総務課所管事業	- 11 -
2 学校教育課所管事業	- 15 -
3 学校給食課所管事業	- 21 -
4 文化スポーツ課所管事業	- 22 -
5 青少年教育課所管事業.....	- 24 -
6 総括表	- 26 -
III 教育委員会活動状況報告.....	- 27 -
1 教育委員会教育長・委員名簿.....	- 27 -
2 教育委員会会議	- 27 -
(1) 開催状況.....	- 27 -
(2) 審議等の状況	- 29 -
3 教育委員会会議以外の活動状況.....	- 35 -
IV 教育委員会総合所見.....	- 37 -

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられており、点検・評価を行うにあたっては、透明性、客観性を確保するという観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

三浦市では、平成 27 年 4 月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正施行に伴い、平成 27 年 10 月より新たな教育委員会制度の下に事務事業の執行にあたっておりますが、本年度の点検・評価についても、有識者会議の委員各位のご見識とご尽力により貴重なご意見を頂戴いたしました。委員各位には、あらためて厚く御礼申し上げます。

点検・評価は、教育委員会が自己評価をするものでありますが、教育委員会の責任体制の明確化を図り、結果を公表することで、市民のみなさまへの説明責任を果たし、教育委員会事務事業の課題を明確にすることの意味は大きいものであると認識しています。

また、点検・評価というツールを教育委員会の組織、体制の改善や事務事業の見直しに使って参りたいと思います。点検・評価をすることが目的ではなく、それを活用することが点検・評価の目的であると認識し、教育委員会組織の充実を図り、質の高いサービスを提供することにつなげて参りたいと考えておりますので、市民のみなさまにおかれましても、この報告書をご高覧賜り、三浦らしい教育の実現に向け、三浦市教育委員会に対し叱咤激励を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和 2 年 8 月

三浦市教育委員会

I 点検・評価の概要

1 趣旨

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部が改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、全国すべての教育委員会において、毎年、教育委員会所管事務の管理及び執行状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することとされました。

三浦市教育委員会においても、所管事務の管理及び執行状況について毎年、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会（三浦市議会第 3 回定例会）に提出するとともに、市民に公表いたします。

このことにより、教育委員会の責任体制の明確化を図り、点検・評価結果を公表することで市民のみなさまへの説明責任を果たし、課題を明確にすることで次の事務執行の改善等を進めます。これは、教育委員会自らが、その所管する事務事業の P D C A サイクル^{※1}を確立しようとするもので、P D C A サイクルの確立により、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを趣旨としています。

【参考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

※1:「P D C A サイクル」

典型的なマネジメントサイクルの 1 つで、計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（act）のプロセスを順に実施する。最後の act では check の結果から、最初の plan の内容を継続（定着）・修正・破棄のいずれかにして、次回の plan に結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

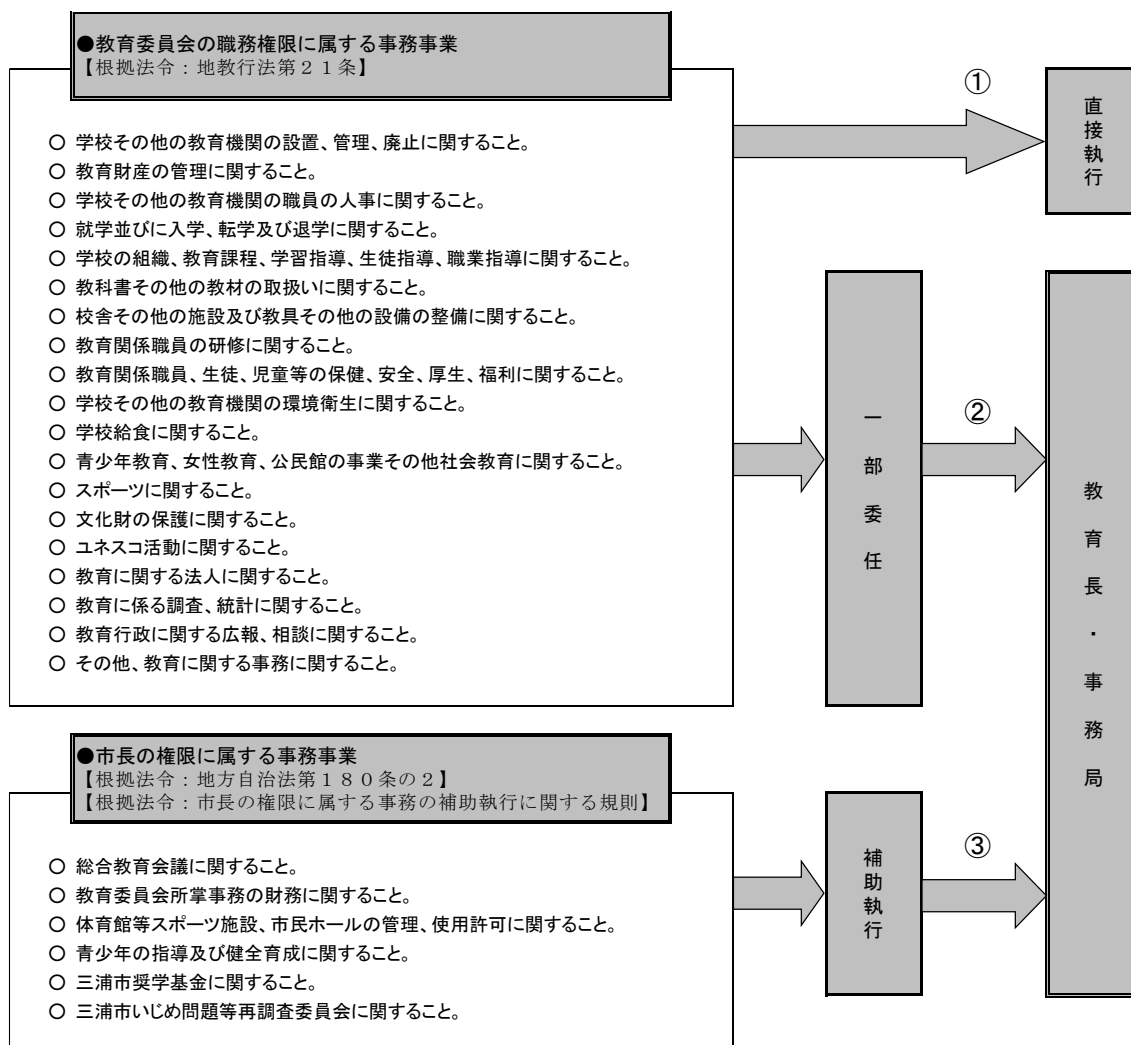
2 対象事務事業

(1) 教育委員会所管事務

三浦市教育委員会は、教育長、4人の教育委員及び教育委員会事務局で組織されています。

ここで所管する事務事業は、下記の図1のとおりに分類されます。

【図1：教育委員会所管事務体系】



すなわち、

① 地教行法第21条に基づき、教育委員会が直接執行する事務

② 地教行法第21条に基づき、教育委員会が教育長・事務局に委任して執行する事務

③ 地方自治法及び規則に基づき、市長の権限に属する事務を教育長・事務局が補助執行^{※2}する事務

の3つです。

点検・評価の対象は、前述の地教行法第26条のとおり「教育委員会の権限に属する事務」とされていますので、上記の①と②の一部を対象とすることとします。

(2) 点検・評価の対象とする事務事業

三浦市では、すべての経費を、人件費、生活保護費などの扶助費、公債費（利息を含めた借金の返済金）などに充てる義務的経費、施設の維持管理費などのその他経費（経常的）、それ以外の経費で、総合計画に沿ったまちづくりの計画の具現化を進める事業に充てる実施計画事業費やその他経費（臨時的）の区分にしています。

前2者は事業選択や予算規模に関する自由裁量が少なく、実施計画事業費に関しては、事業選択や予算規模に関して比較的自由的な裁量が可能な経費です。

そのことから、点検・評価の対象事務事業は、年度内に教育部が達成目標を設定した事務事業のうち、「市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則」により教育委員会の教育長及び事務局職員並びに教育機関の職員が補助執行するものを除くものを基本とします。

(1)の①及び②のうち、達成目標を設定した事務事業から選択した事業に、経常的経費を充当するもののうち、政策的に重要な意味を持つ事業を加え、点検・評価の対象事業とします。

具体的には次の表1に示す教育委員会所管の事業のうち、「点検・評価対象」に“○”を付した事業を対象とします。

※2: 「補助執行」

ある行政機関の事務を他の行政機関に所属する職員が補助して執行することをいう。市長の権限に属する事務は本来、市長の副市長以下の補助執行機関が行うが、教育行政については、規則により教育委員会が補助執行している。

【表 1：教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業】

No.	事業名	決算 見込額 (円)	主管			充当 経費	権限区分		点検 評価 対象	事業区分	
			部門	部	課		委員会	市長		実施 計画	その他 課題
1	小学校特別支援学級充実事業	419,818	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
2	中学校特別支援学級充実事業	100,107	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
3	教育委員会運営事業	4,320,030	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
4	教育委員会事務局一般管理事業	494,679	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
5	教育振興小学校管理運営事業	12,775,876	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
6	小学校義務教育施設維持管理事業	44,177,025	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
7	小学校施設整備事業	278,612,660	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○		○		○
8	教育振興中学校管理運営事業	10,174,665	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
9	中学校義務教育施設維持管理事業	23,745,003	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
10	中学校施設整備事業	150,641,540	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○		○		○
11	小学校教育環境適正化事業	54,000	一体感	教育部	1 教育総務課	実計	○		○	○	
12	奨学事業	8,971,805	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○		○		○
13	公立学校施設災害復旧事業	5,115,380	一体感	教育部	1 教育総務課・学校給食課	その他	○				
14	就学時健康診断事業	341,850	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
15	小学校疾病予防検査事業	13,306,746	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
16	中学校疾病予防検査事業	6,188,100	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
17	国際理解教育の推進事業	9,587,963	一体感	教育部	2 学校教育課	実計	○		○	○	
18	相談指導教室事業	1,863,230	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
19	小学校教材教具整備事業	39,758,440	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
20	中学校教材教具整備事業	15,953,251	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
21	障害児教育事業	17,312,468	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
22	小学校心身障害児教育充実事業	1,441,269	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
23	中学校心身障害児教育充実事業	1,189,076	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
24	教育研究所事業	1,649,321	一体感	教育部	2 学校教育課	実計	○		○	○	
25	教育指導事業	1,282,200	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
26	教職員福利厚生事業	195,000	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
27	教育指導一般管理事業	140,563	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
28	地域教育力活用事業	111,000	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
29	海洋教育推進等地域連携事業		一体感	教育部	2 学校教育課		○		○	○	
30	小学校学校災害傷害保険事業	1,732,372	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
31	中学校学校災害傷害保険事業	1,229,693	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業		一体感	教育部	2 学校教育課		○		○		○
33	海難交通遺児就学奨励事業	0	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
34	小学校就学援助事業	12,820,180	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○		○		○
35	中学校就学援助事業	10,813,211	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○		○		○
36	学校給食事業	156,513,408	一体感	教育部	3 学校給食課	義務	○		○		○
37	学校体育施設開放事業	1,242,223	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
38	スポーツ施設運営管理事業(体育施設)	55,717,848	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他		○			
39	かながわ駅伝競走大会選手派遣事業	72,400	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
40	スポーツ推進審議会事業	0	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				

No.	事業名	決算 見込額 (円)	主管			充当 経費	権限区分		点検 評価 対象	事業区分	
			部門	部	課		委員会	市長		実施 計画	その他 課題
41	わんぱく相撲大会事業	58,287	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
42	市民スポーツ大会事業	87,643	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
43	スポーツ推進委員事業	967,708	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	義務	○			
44	地域スポーツ振興事業	1,620,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○		○	○
45	保健体育総務一般管理事業	1,623,049	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
46	文化財保護委員会事業	59,732	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
47	赤坂遺跡等埋蔵文化財緊急発掘調査事業	2,200,762	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
48	文化財施設維持管理事業	330,391	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
49	文化財保護一般管理事業	25,270	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
50	指定文化財保存管理助成事業	285,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
51	三浦市伝統芸能等伝承振興事業	1,000,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
52	三浦市文化祭事業	70,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
53	白秋記念館管理運営事業	1,726,967	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
54	三浦市民ホール事業	19,640,743	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
55	社会教育団体助成事業(PTA)	58,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
56	社会教育総務一般管理事業	25,060	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
57	社会教育委員事業	135,872	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
58	社会教育講座事業	121,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○		○	○
59	人権教育推進事業	144,668	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
60	姉妹都市交流事業	388,000	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
61	青少年姉妹都市国際交流事業	1,208,889	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○		○	○
62	子ども会活動促進事業	114,300	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
63	子どもの船事業	33,747	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
64	青少年教育一般管理事業	1,310	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
65	成人の日のつどい事業	35,710	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
66	青少年健全育成事業	900,000	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
67	青少年問題協議会事業	72,000	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
68	青少年指導員活動事業	1,073,476	一体感	教育部	5	青少年教育課	義務	○		○	○
69	児童館維持管理事業	435,956	一体感	教育部	5	青少年教育課	義務	○			
70	児童館廃止事業	14,856,394	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
71	図書収集整理閲覧事業	5,555,081	一体感	教育部	6	図書館	その他	○			
72	図書館運営管理事業	3,121,067	一体感	教育部	6	図書館	義務	○			
73	公民館フェスティバル事業	7,522	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	その他	○			
74	南下浦市民センター維持管理事業	4,426,075	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	その他	○			
75	南下浦市民センター社会教育指導員事業	912,000	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	義務	○			
76	初声市民センターまつり事業	7,947	一体感	教育部	8	初声市民センター	その他	○			
77	初声市民センター維持管理事業	5,044,708	一体感	教育部	8	初声市民センター	その他	○			
78	初声市民センター社会教育指導員事業	912,000	一体感	教育部	8	初声市民センター	義務	○			
点検・評価対象事業数 15											

3 点検・評価の手法

(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表

三浦市議会では、毎年第3回定例会（通常9月開催の定例会）において一般会計決算の認定議案が審議されることとなっています。教育委員会所管事務事業の決算に係る審議も例外ではなく、その審議に合わせ、教育委員会所管事務事業の点検・評価を議会に提出し、公表すべきであると考えられます。

このことから、点検・評価は、毎年、三浦市議会第3回定例会前に行い、同議会において報告後、すみやかに三浦市のホームページにおいて公表し、南下浦、初声の両市民センター及び教育委員会教育総務課に閲覧用の報告書を備え、市民のみなさまに供することとします。

(2) 点検・評価の手順

ア 点検・評価の手順と内容

点検・評価は、次の手順及び内容で行います。

(ア) 達成目標と実績の検証

事業ごとに定めた達成目標の確認及び実績を明示します。

(イ) 事務局自己評価

(ア) 及びその他の情報に基づき、事務局として、事務事業の成果及び課題と課題に対する対処方針を明示します。

(ウ) 有識者意見調整

(ア)、(イ) 及びその他の情報に基づき、有識者の意見を調整します。

(エ) 教育委員会総合評価

(ア) ～ (ウ) 及びその他の情報に基づき、事業手法、目標と実績及び事業効果の3点について、次の表2～表4の区分により、評価します。

その際、ランクを5点から1点と点数化し、教育委員がそれぞれ評価したランクの件数に乗じて求めた合計点から加重平均を求め、4.5以上を5評価、3.5以上4.5未満を4評価、2.5以上3.5未満を3評価、1.5以上2.5未満を2評価、1.5未満を1評価とするものとします。

なお、評価に当たっては、必要に応じて各教育委員の意見を取りまとめた付帯意見を付すものとします。

【表 2：事業手法に関する評価区分】

ランク	評 価
5	事業手法が適切で、改善の余地がない。
4	事業手法は適切であった。
3	事業手法はおおむね適切であった。
2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。
1	事業手法の見直しが必要である。

【表 3：目標と実績に関する評価区分】

ランク	評 価
5	目標が適切で、十分な実績をあげた。
4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。
3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。
2	目標設定に課題はあり、予定の実績を得られなかった。
1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。

【表 4：事業効果に関する評価区分】

ランク	評 価
5	具体的効果が十分に得られている。
4	具体的効果が得られている。
3	一定の効果は得られている。
2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。
1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。

(3) 有識者会議

地教行法第 26 条第 2 項の規定により、点検・評価をするに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価に関する有識者会議」（以下「有識者会議」という。）を組織します。

有識者会議は、達成目標と実績の検証、事務局自己評価及びその他の情報に基づき、教育委員会所管事務事業の決算の状況に関する意見を交換し、調整し、教育委員会の総合評価に資することを目的とします。

【表 5：有識者会議委員名簿】

（50 音順：敬称略）

氏 名	役職等
下 里 矩 生（しもざと のりお）	元三浦市教育委員
前 山 裕 治（まえやま ゆうじ）	三浦市 P T A 連絡協議会会長

4 総合所見

点検・評価報告書には、前 2 項に掲げる点検・評価のほか、教育委員会活動状況報告を掲載するとともに、効率的かつ効果的な教育行政の推進に資することを目的として、教育委員会の事務全般に対する教育委員会の総合所見を掲載します。

Ⅱ 点検・評価結果

点検・評価の結果について、対象事業を所管する課ごとに並べ、掲載します。
対象事業の一覧と掲載ページは、次の表 6 のとおりです。

【表 6：対象事業一覧・掲載ページ索引】

No.	事業名	決算 見込額 (円)	所管課	充当 経費	権限区分		掲載 ページ
					委員会	市長	
7	小学校施設整備事業	278,612,660	1 教育総務課	その他	○		11
10	中学校施設整備事業	150,641,540	1 教育総務課	その他	○		12
11	小学校教育環境適正化事業	54,000	1 教育総務課	実計	○		13
12	奨学事業	8,971,805	1 教育総務課	その他	○		14
17	国際理解教育の推進事業	9,587,963	2 学校教育課	実計	○		15
24	教育研究所事業	1,649,321	2 学校教育課	実計	○		16
29	海洋教育推進等地域連携事業		2 学校教育課		○		17
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備 推進事業		2 学校教育課		○		18
34	小学校就学援助事業	12,820,180	2 学校教育課	その他	○		19
35	中学校就学援助事業	10,813,211	2 学校教育課	その他	○		20
36	学校給食事業	156,513,408	3 学校給食課	義務	○		21
44	地域スポーツ振興事業	1,620,000	4 文化スポーツ課	その他	○		22
58	社会教育講座事業	121,000	4 文化スポーツ課	その他	○		23
61	青少年姉妹都市国際交流事業	1,208,889	5 青少年教育課	その他	○		24
68	青少年指導員活動事業	1,073,476	5 青少年教育課	義務	○		25
点検・評価対象事業数 15							

※No.については、P5～P6の教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業のNo.と一致しています。

1 教育総務課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
7	小学校施設整備事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	02 小学校費
	施策	義務教育環境の充実				目	01 学校管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		7,272,000	0	0	0	7,272,000	0
決算(見込)		278,612,660	41,134,000	0	226,700,000	6,901,000	3,877,660
執行率		3831.31%	-	-	-	94.90%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由		空調設備の設置について前年度からの繰越事業としたため。					
令和 元 年度 事業内容							
平成30年度中にクラウドファンディング型ふるさと納税「みうらっ子応援プロジェクト」により寄せられた寄附金を活用して、全ての小学校に緊急地震速報を自動で校内放送する装置を設置し児童の安全確保に努めます。							
また、平成30年度に交付決定された国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」等を繰り越して活用することにより、全ての小学校の普通教室等にエアコンを設置し、児童の生活・学習環境を向上させます。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	全ての小学校に緊急地震速報受信装置の設置		全ての小学校に緊急地震速報受信装置の設置			100%以上～125%未満	
	全ての小学校の普通教室等に空調設備を設置		全ての小学校の普通教室等に空調設備を設置			達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】児童の安全確保のために全ての小学校に緊急地震速報受信装置を設置できた。 また、児童の生活・学習環境向上のために全ての小学校の普通教室等に空調設備を設置できた。 【課題】学校施設の経年劣化による修繕及び老朽化対策を検討する。			学校長等からの要望について優先順位をつけて国、県の補助金を活用して実施する。			
有識者意見	各地での地震の多発、新型コロナウイルスの感染拡大等の状況の中、児童の安全を確保する事は急務である。防犯カメラの設置や、市内小学校の全ての普通教室への空調設備の設置は大きく評価でき、感謝したい。 財政難の中、学びの環境を整えることは大変な努力が必要である。今後は統合計画も視野に入れながら、未来に向かって児童たちの環境改善に更に努めてほしい。						
	評価項目	ランク	評 価				
教育委員会総合評価	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	全ての小学校に緊急地震速報受信装置、念願の空調が設置できた事は大変喜ばしい。 経年劣化による修繕及び対策については、児童の命、健康に関わることなので緊急性を生じるものから速やかに実行されることを希望する。 また、教育ビジョンとの関連づけも視野に入れた検討をお願いしたい。					

No.	事業名					部門	一体感
10	中学校施設整備事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					03 中学校費
	施策	義務教育環境の充実					01 学校管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		2,727,000	0	0	0	2,727,000	0
決算(見込)		150,641,540	23,769,000	0	123,800,000	2,718,000	354,540
執行率		5524.08%	-	-	-	99.67%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由		空調設備の設置について前年度からの繰越事業としたため。					
令和 元 年度 事業内容							
平成30年度中にクラウドファンディング型ふるさと納税「みうらっ子応援プロジェクト」により寄せられた寄附金を活用して、全ての中学校に緊急地震速報を自動で校内放送する装置を設置し生徒の安全確保に努めます。							
また、平成30年度に交付決定された国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」等を繰り越して活用することにより、全ての中学校の普通教室等にエアコンを設置し、生徒の生活・学習環境を向上させます。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	全ての中学校に緊急地震速報受信装置の設置		全ての中学校に緊急地震速報受信装置の設置			100%以上～125%未満	
	全ての中学校の普通教室等に空調設備を設置		全ての中学校の普通教室等に空調設備を設置			達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題				課題に対する対処方針		
	【成果】生徒の安全確保のために全ての中学校に緊急地震速報受信装置を設置できた。 また、生徒の生活・学習環境向上のために全ての中学校の普通教室等に空調設備を設置できた。 【課題】学校施設の経年劣化による修繕及び老朽化対策を検討する。				学校長等からの要望について優先順位をつけて国、県の補助金を活用して実施する。		
有識者見	各地での地震の多発、新型コロナウイルスの感染拡大等の状況の中、生徒の安全を確保する事は急務である。防犯カメラの設置や、市内中学校の全ての普通教室への空調設備の設置は大きく評価でき、感謝したい。 財政難の中、生徒の学びの環境を整えることは大変な努力が必要である。今後も環境改善の推進が望まれる。						
教員会 総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付 帯 意 見	全ての中学校に緊急地震速報受信装置の設置、念願の空調が設置できた事は大変喜ばしい。 経年劣化による修繕及び対策については、生徒の命、健康に関わることなので緊急性を生じるものから速やかに実行されることを希望する。					

No.	事業名					部門	一体感
11	小学校教育環境適正化事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	款09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					項01 教育総務費
	施策	義務教育環境の充実					目02 事務局費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		75,000	0	0	0	0	75,000
決算(見込)		54,000	0	0	0	0	54,000
執行率		72.00%	-	-	-	-	72.00%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
児童の教育環境をさらに向上させるため、平成30年度に策定した小学校教育環境適正化方針を基に、学校関係者や地域の有識者等の意見を参考に、引き続き適正化に向けた具体策の検討を行います。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	学校関係者、地域の有識者等による懇談会の開催：5回		学校関係者、地域の有識者等による三浦市学校教育ビジョン地域協議会準備会の開催：延べ9回			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針を盛り込んだ三浦市学校教育ビジョンを策定した。 地域協議会準備会で令和2年度に開催する地域協議会の構成及び協議すべき事項の検討を行い三浦市学校教育ビジョン地域協議会に関する要綱を策定した。 【課題】三浦市学校教育ビジョン推進のための諸課題の検討。			三浦市学校教育ビジョンについて市民説明会の実施及び地域協議会での検討。			
有識者意見	子どもにとっても、教員のレベルアップにとっても教育ビジョンの実現は必要であるが、まだまだ理解が得られていないのが現状である。PTA役員や有識者だけではなく、三浦市で子どもを育てる全ての保護者及び関係者に対して、説明する場を作っていくことが今後の課題と考える。 ある程度の人数の中で切磋琢磨しながら成長していくのが理想の環境だと思われる。子どもたちが自分の力で将来を考え、三浦から優秀な人材を生み出すために、事業の推進を図ってほしい。						
教員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	三浦市学校教育ビジョンが策定され、何とかスタートラインに立てた思いである。 今後は、ビジョンを推進していく上での課題を明確にし、具体的な対応策についての検討を精力的にすすめてほしい。					

No.	事業名					部門	一体感
12	奨学事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				款 項 目 予算	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					01 教育総務費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり					02 事務局費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		8,707,000	0	0	0	8,706,000	1,000
決算(見込)		8,971,805	0	0	0	2,691,485	6,280,320
執行率		103.04%	-	-	-	30.92%	628032.00%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由		奨学金返還金については奨学基金に積み立てることとなるが、繰上げて返還した者がおり当初予算積算時より積立金が多くなったため					
令和 元 年度 事業内容							
大学等に進学を希望しながら経済的な理由により進学が困難な学生に対して、選考上位の学生4名に入学時の給付金支給と無利子貸付を、選考に漏れた学生のなかから希望する方上位4名に無利子貸付を行い就学を支援します。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	奨学貸付金貸付人数：22人 奨学給付金給付人数：4人 貸付終了者が上級学校進学若しくは就職		奨学貸付金貸付人数：22人 奨学給付金給付人数：4人 貸付終了者の就職			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】奨学貸付金貸付人数の増（平成30年度：17人、令和元年度：22人）。 【課題】令和2年4月から始まった国の高等教育の修学支援新制度（大学等無償化）と整合性を取り、より昨今の実情に合った制度へと見直す必要がある。			情報の収集を行い、必要に応じて制度改正を行う。			
有識者意見	経済的な理由により希望に沿った進学ができないことは悲しいことである。有用な人材の育成という観点からも、更に充実した事業になることを望む。 今後は返済能力のある、信用できる人物であるかをもっと精査すべきではないか。また、本事業を受けた生徒の追跡調査も必要と思われる。						
教 育 委 員 会 総 合 評 価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。				
	付 帯 意 見	経済的に困窮している学生に夢を諦めずに進学を可能にするための奨学事業は大変有意義な事業である。国の制度を注視しながら三浦市の制度をより良いものとして頂きたい。					

2 学校教育課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
17	国際理解教育の推進事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					01 教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上					03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		9,820,000	0	0	0	0	9,820,000
決算(見込)		9,587,963	0	0	0	0	9,587,963
執行率		97.64%	-	-	-	-	97.64%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
児童生徒の英語学習の充実を図るとともに、国際交流への関心度を深めるため、姉妹都市ウォーナンブール市より招聘した国際交流推進非常勤講師や市民有志による外国語支援員を小中学校に派遣し、わかりやすい外国語授業づくりを支援します。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	小学校での英語授業実施 外国語支援員（英語ボランティア）：200日／年 国際交流推進非常勤講師：5日／週 中学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：3日／週 外国語教育研修会の実施：1回／年		小学校での英語授業実施 外国語支援員（英語ボランティア）：173日／年 国際交流推進非常勤講師：5日／週 中学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：5日／週 外国語教育研修会の実施：1回／年			75%以上～100%未満 達成状況100%未満の理由 外国語活動支援員について、4名の支援員を市内小学校へ派遣した。年間200日の配置を目標に掲げたものの、支援員と学校との日程調整の結果、年間200日の実施が困難となった。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	【成果】国際交流推進非常勤講師が2名体制になり、小・中学校の英語の授業におけるネイティブスピーカー活用が充実した。また、小学校では、外国語活動支援員によるサポートを受けて、学習の内容理解が深まった。 【課題】外国語の学習を充実させるために、国際交流推進非常勤講師や外国語活動支援員の人材確保が必要である。			市長部局と連携して、来年度についても国際交流推進非常勤講師の2名体制を維持する。また、外国語活動支援員の増員に向けて、情報収集を行い、積極的に人材を確保する。			
有識者見	小学生の頃に耳で聞いて覚え、学んだことは国際人として生きていくための基礎となる。令和2年度から小学校でも英語が始まり、ますます国際理解教育の重要性が増している。新型コロナウイルス等の影響もあり、講師の確保が難しいと思うが、更なる充実を目指して前進が望まれる。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	更なる外国語教育の発展や、人材確保に向けた体制づくりに期待したい。ALT、外国語活動支援員の配置をより有意義なものとするために、現場での声を取り入れ検討を重ねると共に、教育委員会には各々と連携する役割を担って頂きたい。					

No.	事業名					部門	一体感
24	教育研究所事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上				目	03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		1,269,000	0	0	0	0	1,269,000
決算(見込)		1,649,321	0	415,195	0	0	1,234,126
執行率		129.97%	-	-	-	-	97.25%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由		当初予算で計上していなかった「かながわ学びづくり推進地域研究委託金」の交付決定があり、予算が増額となったため。					
令和 元 年度 事業内容							
児童生徒の学習や学校生活に起因する諸問題に対応するため、教育相談員を設置し、保護者や児童生徒の相談に応じます。 県の研究組織や各種研究会に負担金を交付し、各団体の研究成果を各学校に還元します。 わかりやすい授業を目指し、各小中学校における校内研究を推進し、教職員の資質の向上を図ります。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	教育相談員の配置：40日／年 市内小中学校での校内研究の実施：11校 学びづくり研修会の実施：1回／年 人権教育研修会の実施：1回／年		教育相談員の配置：40日／年 市内小中学校での校内研究の実施：11校 学びづくり研修会の実施：25回／年 人権教育研修会の実施：1回／年			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】教育相談員を配置することで、児童生徒相談に対してきめ細やかな対応が可能となった。かながわ学びづくり推進地域研究事業の委託を受けて、市内小・中学校の校内研究を推進するとともに、情報交換の場を設けて研究成果を共有した。学びづくり研修会では、授業を伴う実践的な研修を行った。 【課題】資質・能力を育む視点からの授業改善が必要である。			資質・能力を育む視点からの授業改善に向けて、学びづくり研修会を充実させるとともに、学びづくり通信を発行して、積極的に情報発信を行う。また、各小・中学校の校内研究の推進を促すとともに、研究成果の共有化を図る。			
有識者意見	子どもたちの様々な問題に対応しながら、教職員の資質向上を図るこの組織は必要不可欠である。非常に少ない予算の中で各教員の授業力向上を図ることは大きく評価できる。 財政的な面からもまだ組織の確立は十分とは言えず、教育相談員の仕事内容がハードなため人員の確保も難しいと思うが、子どもたちと教職員のための研究所を目指して努力して欲しい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	児童・生徒だけではなく教職員の抱える問題を軽減するため教育相談員の配置は欠かせないものであり当初の予定通り実施できたこと、県からの研究事業の委託を受け、研究・研修の実績を得られた事は評価する。 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けては、更なる共通理解と、学び、実践が教員に課せられているため、より学びの場を確保し、具体的成果が示されることを期待する。					

No.	事業名					部門	一体感
29	海洋教育推進等地域連携事業					部	教育部
						課	学校教育課
総 合 計	大 綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予 算	09 教育費
	目 標	一体感を育てる人材育成					01 教育総務費
	施 策	みうらっ子を育む教育力の向上					03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当 初 予 算		0	0	0	0	0	0
決 算 (見 込)		0	0	0	0	0	0
執 行 率		-	-	-	-	-	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
三浦らしい海洋教育の推進及び地域と連携した教育に取り組むことで、郷土三浦への愛着を深め、地域社会への関心度の向上につなげます。 (一社) みうら学・海洋教育研究所や東大三崎臨海実験所等の関係機関と連携し、市内の全小中学校で海洋教育授業を実施するほか、子どもたち自身が各校の取組を発表し合う「海洋教育子どもサミット i n 三浦」を開催します。 また、平成31年度は海洋教育を小中学校での活動にとどまらず一般市民向けまで拡大するため、「(仮称)海洋教育市民講座」の実施に向け検討を進めます。							
目 標 と 実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	海洋教育教材を活用した授業実施：11校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋写真コンテストの開催：1回 海洋写真コンテスト優秀作品のみうら市民まつり等での展示：4回 海洋教育こどもサミットinみうらの開催：1回		海洋教育教材を活用した授業実施：11校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋写真コンテストの開催：1回 海洋写真コンテスト優秀作品のみうら市民まつり等での展示：4回 海洋教育こどもサミットinみうらの開催：1回			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事 務 局 自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】市内小・中学校において、地域に根差した学習材を活用して海洋教育を推進した。その成果を海洋教育こどもサミットinみうらで発表した。 海洋教育推進に向けて、資質・能力を育成する観点から、コンピテンシーベースのカリキュラム開発に取り組んだ。また、検証授業では、コンピテンシーの育成を視点に協議会を進行し、研究成果の共有化を図った。 【課題】郷土を愛する心を育む視点から、地域の学習材を活用した授業づくりが必要である。			三浦市の郷土を愛する心を育む視点から、三浦市の海洋教育が担う責務は大きく、今後も、みうら学・海洋教育研究所と連携しながら、地域の学習材を活用した授業づくりを推進する。			
有 識 者 意 見	三方を海に囲まれた三浦の学校ならではの大変重要な事業であり、市内全ての学校で活動しているが、常態化し、形だけの海洋教育となっている心配がある。三浦ならではの、他の市町村で真似できないような事業を今後も期待したい。						
教 育 委 員 会 総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事 業 手 法	4	事業手法は適切であった。				
	目 標 と 実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事 業 効 果	4	具体的効果が得られている。				
	付 帯 意 見	海洋教育事業も年々充実したものとなっており、地元の企業や地域の人達との協力を得られているのは喜ばしいことである。 発表会の開催時期については見直す必要があるように思う。 今後、市ぐるみの事業に発展することを期待する。					

No.	事業名					部門	一体感
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業					部	教育部
						課	学校教育課
総 合 計 画	大 綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	款 09 教育費
	目 標	一体感を育てる人材育成					項 01 教育総務費
	施 策	みうらっ子を地域で育む風土づくり					目 03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当 初 予 算		0	0	0	0	0	0
決 算 (見 込)		0	0	0	0	0	0
執 行 率		-	-	-	-	-	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
学校と家庭・地域の関係機関・団体が連携し、児童・生徒及び学校が被害を受ける事件を防止し、子どもが安心して教育を受けることができるよう、登下校時等における児童・生徒のスクールガード活動（見守り活動）に対する支援を行います。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	各小中学校でのスクールガード活動の実施：学校課業日全日		各小中学校でのスクールガード活動の実施：学校課業日全日			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】地域の積極的な協力により、登下校時の子どもたちの安全が図られている。 【課題】高齢化等の理由によりスクールガード登録者数が減少していることを受け効果的な配置等について検討していきたい。			各学校のスクールガード連絡会等の場に参加し、他市町の活動状況について情報提供するとともに効果的な配置等についてアドバイスしていく。			
有 識 者 見 意	スクールガード活動により、登下校の児童、生徒の安全が図られ非常に大きな成果を上げており、感謝している。 しかしながらスクールガードは高齢者のイメージが強く、少子高齢化で人材不足と聞いているが、PTA等と協力し、たくさんの人々による見守りが望まれる。また、組織運営のための予算化を含め、考え直す時期にきていると思われる。						
教 育 委 員 会 総 合 評 価	評価項目	ランク	評 価				
	事 業 手 法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事 業 効 果	4	具体的効果が得られている。				
	付 帯 意 見		スクールガードの皆様には感謝申上げる。 スクールガード活動は、地域の大きな安心につながっている。課題となっている登録者の確保、効果的な配置等について、良い方法を探り、進めて欲しい。				

No.	事業名					部門	一体感
34	小学校就学援助事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			予算	款09	教育費
	目標	子どもを産み育てたくなる環境づくり				項02	小学校費
	施策	子育て支援の充実				目02	教育振興費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		18,173,000	32,000	0	0	118,000	18,023,000
決算(見込)		12,820,180	47,200	0	0	105,800	12,667,180
執行率		70.55%	147.50%	-	-	89.66%	70.28%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和元年度事業内容							
経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 平成31年度は、これまで新入学児童に支給していた新入学学用品費について、入学準備金として小学校入学前に前倒し支給を行います。							
目標と実績	令和元年度達成目標		令和元年度実績			達成状況	
	新入学学用品について、令和2年3月までに、入学準備金を支給する。		新入学学用品について、令和2年3月までに、入学準備金を支給できた。			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	【成果】小学校入学予定者への入学準備金を入学前までに支給した。 【課題】認定基準や支給単価等について、検討を深める必要があると考える。			他市の対応状況を確認し次年度に予算計上を行う。			
有識者意見	「子どもの貧窮」が叫ばれる中、経済的困難を抱える家庭への支援は非常に重要である。財政的に苦しい中、入学前に援助金を支給したりと、きめ細かい対応をしていることは素晴らしく、大きく評価できる。今後とも安定した援助を続け、全ての子どもが格差なく入学式を迎えられるよう、事業のますますの充実を目指して更に努力してほしい。						
教員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	子どもの貧困が大きな社会問題である現代、全ての児童が等しく教育を受けられるようこれからも手厚い援助を持続することを希望する。					

No.	事業名					部門	一体感
35	中学校就学援助事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			予算項目	09	教育費
	目標	子どもを産み育てたくなる環境づくり				03	中学校費
	施策	子育て支援の充実				02	教育振興費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		14,401,000	86,000	0	0	81,000	14,234,000
決算(見込)		10,813,211	70,800	0	0	72,680	10,669,731
執行率		75.09%	82.33%	-	-	89.73%	74.96%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行う。		経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行うことができた。			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	【成果】例年各学期終了後に支給することが多かったが、今年度は概ね学期内に支給することができた。 【課題】認定基準や支給単価等について、検討を深める必要があると考える。			他市の対応状況を確認し次年度に予算計上を行う。			
有識者見	「子どもの貧窮」が叫ばれる中、経済的困難を抱える家庭への支援は非常に重要である。財政的に苦しい中、入学前に援助金を支給したりと、きめ細かい対応をしていることは素晴らしく、大きく評価できる。 今後とも安定した援助を続け、全ての子どもが格差なく入学式を迎えられるよう、事業のますますの充実を目指して更に努力してほしい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	子どもの貧困が大きな社会問題である現代、全ての生徒が等しく教育を受けられるようこれからも手厚い援助を持続することを希望する。					

3 学校給食課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
36	学校給食事業					部	教育部
						課	学校給食課
総 合 計	大 綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予 算	款 09 教育費
	目 標	一体感を育てる人材育成					項 04 学校給食費
	施 策	みうらっ子を育む教育力の向上					目 01 給食管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当 初 予 算		159,036,000	0	0	0	0	159,036,000
決 算 (見 込)		156,513,408	0	0	0	0	156,513,408
執 行 率		98.41%	-	-	-	-	98.41%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
郷土を愛する食育を推進するため、特産品であるまぐろや新鮮な野菜を活用したメニューづくりに取り組み、「三浦ならではの地産地消の学校給食」を実施します。 また、安全、安心な学校給食の提供に努め、市内小中学生の心身ともに健全な発達に寄与していきます。							
目 標 と 実 績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	学校給食の円滑な運営 新たな地産地消メニューの提供		三崎、南下浦両調理場の施設及び機器等の保守点検、保全補修を行うとともに、衛生管理に留意し、適正な管理運営を行い、安心安全な学校給食を提供することが出来た。 3件の新たな地産地消メニューを提供した。			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事 務 局 自己評価	成果及び課題				課題に対する対処方針		
	【成果】調理場の衛生管理は新たな衛生基準に基づき、調理員及び配膳員への指導を行った。 地産地消の献立については、カジキマグロ等を使用した新たな3種類の献立を提供した。 アレルギー対応は、教職員と連携し、該当する児童生徒の対応食のメニューを増やしつつ、安全に配慮して給食を提供することができた。				今後も、県栄養士、調理員及び配膳員と連携を図り、安全安心な学校給食を実施する。 地産地消の献立についても、児童生徒が喜ぶメニュー開発に取り組んでいく。		
有 識 者 見 意	三浦市の給食はおいしいと市内外から非常に評価が高い。地産地消を通した「食べる授業」としての学びにもなっている。 しかしながらアレルギーに対する配慮や残食、新メニューの開発等まだまだ課題も多い。今後も児童生徒のために安全安心な給食を提供し、素晴らしい食育をお願いしたい。						
	評価項目	ランク	評 価				
教 育 委 員 会 総合評価	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。				
	目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。				
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。				
	付 帯 意 見	三浦市の給食事業は評判も良く、地産地消を常に念頭に置き、今回も新たな3種類の献立を提供できたことは高く評価したい。 今後も、いろいろなアイデアで安心、安全な楽しい給食の提供を続けることを期待したい。					

4 文化スポーツ課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
44	地域スポーツ振興事業					部	教育部
						課	文化スポーツ課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09 教育費
	目標	三浦が一体となる文化づくり					06 保健体育費
	施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進					01 保健体育総務費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		1,620,000	0	0	0	0	1,620,000
決算(見込)		1,620,000	0	0	0	0	1,620,000
執行率		100.00%	-	-	-	-	100.00%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
スポーツ振興のため三浦市総合体育大会事業、競技力向上選手育成強化事業等を行う、三浦市体育協会の育成を図るため活動補助金を交付し運営をサポートします。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	「三浦市総合体育大会(主催:三浦市体育協会、共催:三浦市教育委員会)」及び「競技力向上選手育成強化事業」(県レベル以上の大会出場者への助成)の継続実施		「三浦市総合体育大会」「競技力向上選手育成強化事業」の実施 [内訳]三浦市総合体育大会H30:1,314人、R1:1,125人 競技力向上選手育成強化事業H30:27件、R1:29件			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】前年度と同様の種目にて開催した三浦市総合体育大会の参加者数はH30：1,314人、R1：1,125人で189人減。 【課題】人口及び子どもの数が減少する中で、スポーツの普及並びに振興のため、スポーツ人口の増加若しくは現状維持を目指す。			三浦市体育協会、三浦市総合体育大会への支援を引き続き行う。 また、スポーツ推進委員、その他のスポーツ関係団体とも連携、協調により一層のスポーツ振興に務めてまいりたい。			
有識者見	スポーツを通して市民の健全な体力づくりを促進することは非常に大きな意味があり、青少年の健全な育成にも貢献している。少子高齢化によりスポーツ人口が減少する中、参加人数が減少しつつも高い水準で継続されている。 ただ、これからの社会体育の方向が少しずつ変化しているように感じられる。時代の変化を勘案し、プロ選手等による講師形式での開催など、多くの市民に理解が得られ、子どもたちにとっても貴重な経験となるような事業運営を望む。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	少年野球でプロによる指導の場が与えられたが、子どもたちにとって、プロの技に触れる事は刺激となり、夢と意欲につながると思う。 このような場合は、積極的に計画に取り入れて欲しい。 少子化が進む中、三浦市内の各スポーツ団体に所属する子どもの数は減少している。幅広い年齢層の市民が参加できるようなスポーツを特に高齢者もできるスポーツを推進するサポートを教育委員会にはお願いしたい。					

No.	事業名					部門	一体感
58	社会教育講座事業					部	教育部
						課	文化スポーツ課
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			款 項 目	09	教育費
	目標	生きがいをもって生涯を過ごせる環境づくり				05	社会教育費
	施策	生涯学習の推進				01	社会教育総務費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		125,000	0	0	0	0	125,000
決算(見込)		121,000	0	0	0	0	121,000
執行率		96.80%	-	-	-	-	96.80%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが、様々な形で学習活動に取り組むことでお互いの個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた毎日を送るとともに、豊かな地域づくりという共通の目標に向けて共に学びあいお互いの知恵や経験を活かし合っていくことをめざして、社会教育講座実行委員会により各種社会教育講座の企画運営を行います。 南下浦市民センターでは、小学生と保護者が対象の「したうら塾」、シニア世代が対象の「趣味の農業」のほか、「絵画講座」等を行います。 初声市民センターでは、小学生と保護者が対象の「みちしお学級」のほか、「工芸講座」「料理講座」「歴史講座」「親子やきもの教室」等を行います。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績		達成状況		
	社会教育講座実行委員会で決定された社会教育講座の実施。 実施講座数：37講座		社会教育講座実行委員会で決定された社会教育講座を実施した。 実施講座数：33講座		75%以上～100%未満		
					達成状況100%未満の理由 台風接近のため中止(1回)及び、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(3回)		
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】参加者を対象に行ったアンケートで約95.7%の方が講座内容について「満足」と回答されており、高評価を頂いている。 【課題】アイデアシートや受講者アンケートの結果を反映させるなど、市民ニーズに見合った講座の開催に努めているが、変化していく市民ニーズを今後も的確に把握していく必要がある。 また、立地条件もあるが三崎地域の在住者の参加率が両センター共に最も低い状況がある。			社会教育講座実行委員へのアイデアシート提出依頼や講座受講者を対象としたアンケートに引き続き取り組むことにより市民ニーズの把握に努め、講座の企画に活かしていくとともに、継続して行う講座についてもアンケート結果等を踏まえ内容や手法について改善を図り、満足度の維持向上を目指す。 併せて、これまで実施しているポスター掲示、三浦市民、ホームページのほか、広く多くの方の目に留まる情報発信の方法を模索していく。			
有識者見	市民の学習活動を応援する、非常に価値のある事業である。多くの講座がほとんど満員となっており、人気があることがうかがえる。 今後は、要望の多いものや、流行りの講座等も取り入れながら、もう一度内容や、三崎地区での開催等を検討していただきたい。 そして、文化の香りの漂う三浦市となることを望む。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。				
	付帯意見	年度末におけるコロナの影響により中止を余儀なくされたのは残念である。しかしながら概ね参加率は高く、社会教育講座への市民の皆様の関心は高いと考えられる。 課題にある三崎地域在住者の参加率が低い状況を受け止め、場所や参加方法等について検討を望む。					

5 青少年教育課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
61	青少年姉妹都市国際交流事業					部	教育部
						課	青少年教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09 教育費
	目標	三浦が一体となる文化づくり					05 社会教育費
	施策	市民文化の活動の基盤づくり					06 青少年教育費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		1,335,000	0	667,000	0	668,000	0
決算(見込)		1,208,889	0	604,000	0	604,000	889
執行率		90.55%	-	90.55%	-	90.42%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 元 年度 事業内容							
国際姉妹都市オーストラリア・ウォーナンブール市との青少年の受入・派遣による交流を行い、異なる文化や生活習慣の理解の向上、国際的視野を持つ青少年の育成を図ります。 また、学校体験・ホームステイ体験を通じて市民同士・地域同士の交流を促進します。							
目標と実績	令和 元 年度 達成目標		令和 元 年度 実績			達成状況	
	ウォーナンブール市からの青少年の受入れ:1回 ウォーナンブール市への青少年の派遣:1回		ウォーナンブール市からの青少年の受入れ:1回 ウォーナンブール市への青少年の派遣:1回			100%以上～125%未満 達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題				課題に対する対応方針		
	【成果】受入は7月9日から14日までの6日間、再来日の生徒を中心に充実した学校体験を実施した。また新規登録のホストファミリーが増えて、より多くの市民が国際交流を体験した。 派遣は8月1日から14日の14日間、応募者20名から選考された派遣生8名と引率者2名により、ホームステイ及び学校体験を通じて異文化理解と市民交流を深めた。 報告書の発行、みうら市民まつりでブース設置、ホームページの更新による市民への広報を拡充し国際交流への関心を広めることができた。 【課題】現在、事業を休止しているため相互交流の再開の時期等について調整を図る。				令和3年度は東京オリンピック及び新型コロナウイルス感染症対策として休止が予測されるが、未検討・未調整である。 再開の時期についてウォーナンブール市及び関係者等と調整を図る。		
有識者見	参加者である中高生の海外へ派遣される前後を比較すると見違えるほど成長して帰ってくる。異国の文化に触れあい、自分の目で見て体験することは人間を大きく成長させるものであり、継続していかなければならない素晴らしい事業の一つである。 新型コロナウイルスが終息するまで活動は難しいと思うが、事業のあり方を再検討し、三浦市から国際的な青少年がたくさん育つよう一層の充実を図ってもらいたい。						
教員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	ウォーナンブール市との国際交流事業は海外を身近に感じられる有意義な事業である。 新型コロナウイルス感染症の影響も新たな課題となり、今後の活動が懸念されるが永続的に事業が行われることを望む。					

No.	事業名					部門	一体感
68	青少年指導員活動事業					部	教育部
						課	青少年教育課
総合計	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	款09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					項05 社会教育費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり					目06 青少年教育費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		1,154,000	0	62,000	0	0	1,092,000
決算(見込)		1,073,476	0	46,000	0	0	1,027,476
執行率		93.02%	-	74.19%	-	-	94.09%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和元年度事業内容							
青少年を地域ぐるみで育成する活動の推進役として、関係団体と連携をとりながら、パトロール活動や青少年との交流活動を通して青少年の健全育成を支援します。							
目標と実績	令和元年度達成目標		令和元年度実績			達成状況	
	青少年指導員連絡協議会の開催：年4回 役員会開催：年3回 パトロール活動の実施 青少年の健全育成に係る啓発活動の実施		青少年指導員連絡協議会の開催：年4回 役員会開催：年4回 愛のパトロール運動や三崎下町の祭礼パトロールを実施した。 みうら市民まつりにおいて啓発活動を実施した。			100%以上～125%未満 達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】地区情報交換会、中高生との懇談会、他市青少年指導員との交流会を開催したほか、わんぱく相撲や市民スポーツ大会、成人の日のつどい等の教育関係の行事へも参加するなどし、当初の事業計画を実施することができた。 愛のパトロール運動は地域の実情に合わせて実施した。 【課題】 青少年指導員の総数等の見直し。			子どもの数や各地域での青少年指導員の活動状況を勘案し、青少年指導員の総数や選出方法の見直しについて調整を図る。			
有識者意見	目まぐるしく変化する現代社会において、青少年を健全に育成することは非常に難しいことであり、大変な事業である。このような中、青少年指導員の活動には心から敬意を表したい。 PTA活動と同じく、少子高齢化により指導員の選出がますます厳しいかと思われる。メンバーのマンネリ化が進まないよう対策を望む。保護者や学校のみでは、現在の子どもたちをとりまく環境を把握しきれないことがあるため、三浦の子どもたちのためにご尽力をお願いしたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	地域で青少年を育む為にも青少年指導員の活動には大きな意味があり、その働きは評価できる。 課題である青少年指導員の選出方法・総数等の見直しについては結論を出す時期に来ていると思う。各行事については、市民からボランティアを募る等、在り方についても見直すべきなのではないだろうか。					

6 総括表

点検・評価のうち、事業手法、目標と実績及び事業考課の3つの評価項目別評価結果を課ごとにまとめると、次の表7のとおりとなります。

【表7：点検・評価総括表】

評価項目別ランク			所管課					計
			教育総務課	学校教育課	学校給食課	文化スポーツ課	青少年教育課	
事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。	1	0	1	0	0	2
	4	事業手法は適切であった。	3	6	0	2	2	13
	3	事業手法はおおむね適切であった。	0	0	0	0	0	0
	2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。	0	0	0	0	0	0
	1	事業手法の見直しが必要である。	0	0	0	0	0	0
目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。	0	0	1	0	0	1
	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。	4	6	0	2	2	14
	3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。	0	0	0	0	0	0
	2	目標設定に課題があり、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
	1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。	1	0	1	1	0	3
	4	具体的効果が得られている。	3	6	0	1	2	12
	3	一定の効果は得られている。	0	0	0	0	0	0
	2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。	0	0	0	0	0	0
	1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。	0	0	0	0	0	0
点検・評価対象事業数			4	6	1	2	2	15

Ⅲ 教育委員会活動状況報告

1 教育委員会教育長・委員名簿

点検・評価の実施主体である地教行法第3条に基づく三浦市教育委員会の教育長及び委員は、下記の表8のとおりです。

【表8：三浦市教育委員会教育長・委員名簿】

令和元年10月1日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	おい かわ けい すけ 及 川 圭 介	平成30年10月1日	平成30年10月1日 ～令和3年9月30日
教 育 長 職務代理者	たま い え り 玉 井 恵 理	平成28年10月1日	平成28年10月1日 ～令和2年9月30日
委 員	ひろ せ まき み 廣 瀬 牧 実	平成29年10月1日	平成29年10月1日 ～令和3年9月30日
委 員	お ち こう いち 越 智 康 一	平成30年10月3日	平成30年10月3日 ～令和4年10月2日
委 員	いし げ ひろ お 石 毛 浩 雄	令和元年10月1日	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日

2 教育委員会会議

(1) 開催状況

三浦市教育委員会は、原則として、毎月1回の三浦市教育委員会定例会を開催しています。令和元年度においては、次の表9のとおり定例会12回、臨時会2回を開催し、議案32件を審議しました。

【表9：令和元年度教育委員会会議の開催状況】

開催日	会議	付議事件数
平成31年 4月26日(金)	4月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○ 教 育 長 報 告 1件 ○ 報 告 事 項 4件 ○ 審 議 事 項 1件 ○ そ の 他 事 業 報 告 6件
令和元年 5月28日(火)	5月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 2件 ○ 報 告 事 項 1件 ○ 審 議 事 項 3件 ○ そ の 他 事 業 報 告 6件

開催日	会議	付議事件数
6月24日(月)	6月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 4件 ○ 報 告 事 項 3件 ○ 審 議 事 項 2件 ○ そ の 他 事 業 報 告 6件
7月24日(水)	7月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 5件 ○ 報 告 事 項 3件 ○ 審 議 事 項 3件 ○ そ の 他 事 業 報 告 4件
8月 5日(月)	第1回臨時会 欠席委員 なし 傍聴者 18名	○ 審 議 事 項 1件
8月13日(火)	第2回臨時会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○ 審 議 事 項 1件
8月27日(火)	8月定例会 欠席委員 1名 傍聴者 1名	○ 教 育 長 報 告 3件 ○ 報 告 事 項 2件 ○ 審 議 事 項 3件 ○ そ の 他 事 業 報 告 8件
9月26日(木)	9月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○ 教 育 長 報 告 3件 ○ 報 告 事 項 4件 ○ 審 議 事 項 1件 ○ そ の 他 事 業 報 告 12件
10月21日(月)	10月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 3件 ○ 報 告 事 項 4件 ○ 審 議 事 項 2件 ○ そ の 他 事 業 報 告 7件
11月25日(月)	11月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○ 教 育 長 報 告 3件 ○ 報 告 事 項 2件 ○ 審 議 事 項 1件 ○ そ の 他 事 業 報 告 6件
12月18日(水)	第12回定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 3件 ○ 報 告 事 項 2件 ○ 審 議 事 項 0件 ○ そ の 他 事 業 報 告 5件
令和2年 1月28日(火)	1月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 2件 ○ 報 告 事 項 1件 ○ 審 議 事 項 1件 ○ そ の 他 事 業 報 告 6件
2月17日(月)	2月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○ 教 育 長 報 告 2件 ○ 報 告 事 項 2件 ○ 審 議 事 項 3件 ○ そ の 他 事 業 報 告 9件
3月26日(木)	3月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○ 教 育 長 報 告 2件 ○ 報 告 事 項 4件 ○ 審 議 事 項 10件 ○ そ の 他 事 業 報 告 1件
定例教育委員会 臨時教育委員会	12回 2回	○ 教 育 長 報 告 33件 ○ 報 告 事 項 32件 ○ 審 議 事 項 32件 ○ そ の 他 事 業 報 告 76件

(2) 審議等の状況

前述のとおり、三浦市教育委員会の会議では、定例会 12 回、臨時会 2 回を開催し、審議事項（議案）32 件の審議・採決を行ったほか、教育長報告 33 件、報告事項 32 件、その他事業報告 76 件について報告がされています。その案件は、次の表 10～表 13 のとおりです。

【表 10：教育長報告案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	平成31年 3 月、4 月の行事等について	平成31年 4月26日
2	平成31年 4 月、令和元年 5 月の行事等について	令和元年 5月28日
3	川崎での児童等殺傷事件について	
4	本日発生した千葉県南東沖地震について	6月24日
5	三浦市学校教育ビジョン（案）について	
6	市民交流センターの開設について	
7	令和元年第 2 回三浦市議会定例会の状況について	
8	令和元年第 2 回三浦市議会定例会について	7月24日
9	小中学校の夏休みについて	
10	三浦市学校教育ビジョン（案）のパブリックコメントについて	
11	令和元年 7 月、8 月の行事等について	
12	夏休み期間中の教員の健康管理について	
13	三浦市学校教育ビジョンについて	8月27日
14	令和元年 8 月の行事等について	
15	学校閉庁日について	
16	始業式について	9月26日
17	台風15号の被害について	
18	令和元年第 3 回三浦市議会定例会について	
19	地方教育行政功労者表彰について	10月21日
20	台風19号の被害について	
21	令和 2 年度予算編成について	
22	学校訪問について	11月25日
23	前回からの行事について	
24	第 4 回三浦市議会について	
25	小学校修学旅行について	12月18日
26	令和元年第 4 回三浦市議会定例会について	
27	年末・年始について	

番号	案 件 名	報告日
28	学級閉鎖について	令和2年 1月28日
29	令和2年1月の行事等について	
30	前回定例会からの行事等について	2月17日
31	令和2年第1回三浦市議会定例会について	
32	新型コロナウイルス感染症の対策について	3月26日
33	令和2年第1回三浦市議会定例会について	

【表 11：審議事項案件一覧】

番号	案 件 名	審議日
H31-10	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	平成31年 4月26日
11	令和元年度三浦市一般会計補正予算（第1号）に関する申出について	令和元年 5月28日
12	学校教育ビジョン（案）について	
13	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	6月24日
14	令和元年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価基本方針について	
15	教育機関の職員の人事異動について	7月24日
16	三浦市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について	
17	要望書の取扱いについて	8月5日
18	令和2年度使用中学校教科用図書の継続採択について	8月13日
19	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について	
20	三浦市学校教育ビジョン（案）について	8月27日
21	令和元年度三浦市一般会計補正予算（第2号）に関する申出について	
22	令和元年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について	9月26日
23	三浦市国際交流推進英語非常勤講師の委嘱について	
24	教育委員会事務局職員の人事異動について	10月21日
25	三浦市教育委員会教育長職務代理者の指名について	
26	三浦市指定重要有形民俗文化財の指定に関する諮問について	11月25日
27	令和元年度三浦市一般会計補正予算（第3号）に関する申出について	令和2年 1月28日
R2-1	三浦市社会教育委員の会議への諮問について	
2	令和元年度三浦市一般会計補正予算（第5号）に関する申出について	2月17日
3	令和2年度三浦市一般会計予算に関する申出について	
4	県費負担教職員の人事異動について	

番号	案 件 名	審議日
5	三浦市学校教育ビジョン地域協議会に関する要綱の制定について	3月26日
6	令和2年度三浦市立小・中学校使用教科用図書採択方針について	
7	三浦市指定重要有形民俗文化財の指定について	
8	三浦市社会教育委員の委嘱について	
9	三浦市文化財保護委員の委嘱について	
10	三浦市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	
11	三浦市スポーツ推進委員の委嘱について	
12	教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動について	
13	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	
14	三浦市青少年指導員設置規則等の一部を改正する規則について	

【表 12：報告事項案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	平成31年3月の後援名義等使用について	平成31年 4月26日
2	平成31年度奨学事業について	
3	三浦市社会教育委員充て職委員の決定について	
4	専決処分の議会への報告について	
5	平成31年4月の後援名義等使用について	令和元年 5月28日
6	令和元年5月の後援名義等使用について	6月24日
7	令和元年第2回三浦市議会定例会の状況について	
8	一般社団法人みうら学・海洋教育研究所に係る決算及び事業計画について	
9	令和元年6月の後援名義等使用について	7月24日
10	三浦市学校教育ビジョン（案）のパブリックコメントについて	
11	平成30年度学校給食事業（平成30年度決算）について	
12	令和元年7月の後援名義等使用について	8月27日
13	三浦市学校教育ビジョンについて	
14	台風15号による被害状況について	9月26日
15	令和元年8月の後援名義等使用について	
16	令和元年第3回三浦市議会定例会の状況について	
17	平成31年度全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について	

番号	案 件 名	報告日
18	台風19号による被害状況について	10月21日
19	令和元年9月の後援名義等使用について	
20	令和2年度予算編成方針について	
21	令和元年度三浦市図書館利用者満足度調査集計結果について	
22	令和元年10月の後援名義等使用について	11月25日
23	平成30年度児童・生徒の問題行動等調査結果について	
24	令和元年11月の後援名義等使用について	12月18日
25	令和元年第4回三浦市議会定例会の状況について	
26	令和元年12月の後援名義等使用について	令和2年 1月28日
27	令和2年1月の後援名義等使用について	2月17日
28	三浦市社会教育委員の会議の答申について	
29	令和2年2月の後援名義等使用について	3月26日
30	令和2年第1回三浦市議会定例会の状況について	
31	新型コロナウイルス感染症の対策に係る教育委員会が所管している施設の臨時休館等について	
32	三浦市いじめ等に関する調査委員会の調査結果について	

【表13：その他事業報告案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	平成31年度事業計画について	平成31年 4月26日
2	第22回「わんぱく相撲三浦場所」の開催について	
3	三浦市社会教育講座 春の健康体操講座の開催について	
4	三浦市社会教育講座「工芸講座」フラワーかごバッグの開催について	
5	三浦市社会教育講座「料理講座」小満の薬膳の開催について	
6	三浦市社会教育講座「工芸講座」鎌倉彫の開催について	
7	第22回「わんぱく相撲三浦場所」の開催結果について	令和元年 5月28日
8	三浦市子どもの船事業について	
9	三浦市姉妹都市交流事業について	
10	三浦市青少年姉妹都市国際交流事業について	
11	三浦市社会教育講座 「したうら塾」の開催について	
12	三浦市社会教育講座 「子ども絵画教室」の開催について	

番号	案 件 名	報告日
13	夏のスポーツ行事について	6月24日
14	みうらっ子ライブラリー スペースすごろくの開催について	
15	みうらっ子ライブラリー みなみのおはなし会の開催について	
16	三浦市社会教育講座 夏休み子ども将棋教室の開催について	
17	三浦市社会教育講座 親子やきもの教室の開催について	
18	三浦市社会教育講座 みちしお学級の開催について	
19	国指定重要無形民俗文化財「三戸のオショロ流し」の実施について	7月24日
20	三浦市社会教育講座 夏休み したうら子ども囲碁教室の開催について	
21	三浦市社会教育講座 フラワーアレンジオルゴール講座の開催について	
22	三浦市社会教育講座「子どもパン教室」の開催について	
23	令和元年度三崎中学校プール一般開放の実績について	8月27日
24	国指定重要無形民俗文化財「三戸のオショロ流し」の実施結果について	
25	令和元年度青少年教育夏期事業実施報告について	
26	みうらっ子ライブラリー「みなみのおはなし会」の開催結果について	
27	三浦市社会教育講座「秋の体操講座」肩こり・腰痛すっきり体操の開催について	
28	三浦市社会教育講座「工芸講座」プリザーブドフラワーで作る仏花（お供え花）アレンジの開催について	
29	三浦市社会教育講座「歴史講座」～北条源蔵の浦賀日記を読む～の開催について	
30	令和元年度版 三浦市社会教育講座について	
31	第49回三浦市学校保健大会の開催について	9月26日
32	三浦市指定重要無形民俗文化財「第47回いなりっこ発表会」の開催について	
33	神奈川県指定無形民俗文化財「菊名の飴屋踊り」奉納上演について	
34	第65回三浦市文化祭の開催について	
35	第41回初声地区市民スポーツ大会の開催について	
36	第65回三浦市総合体育大会の開催について	
37	第55回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催について	
38	みうらっ子ライブラリー「スペースすごろく」の開催結果について	
39	みうらっ子ライブラリー「図書館てらん会」の開催について	
40	三浦市社会教育講座「工芸講座」草木染め（むらさき染）の開催について	
41	第40回南下浦市民センター公民館フェスティバルの開催について	
42	第38回初声市民センターまつりの開催について	

番号	案 件 名	報告日
43	三浦市指定重要無形民俗文化財 奉納「海南神社の面神楽」の開催について	10月21日
44	第41回初声地区市民スポーツ大会について	
45	第25回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催について	
46	うどん祭りについて	
47	みうらっ子ライブラリー「てんらん会の絵をゲットせよ読書スタンプラリー」の開催について	
48	三浦市社会教育講座「工芸講座」ミニ門松作りの開催について	
49	三浦市社会教育講座「工芸講座」チュニク作りの開催について	
50	第25回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催結果について	11月25日
51	第55回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果について	
52	令和2年三浦市成人の日のつどいの開催について	
53	みうらっ子ライブラリー 図書館てんらん会の開催結果について	
54	三浦市社会教育講座 三浦の野菜をおいしく食べる料理講座の開催について	
55	三浦市社会教育講座 ズンバ ダンスエクササイズの開催について	
56	ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について	12月18日
57	第66回文化財防火デーについて	
58	三浦市社会教育講座 男の料理入門講座の開催について	
59	三浦市社会教育講座 「趣味の農業」22期生募集について	
60	三浦市社会教育講座 やさしい俳句入門の開催について	
61	第23回三浦市学校給食展の開催について	令和2年 1月28日
62	国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産「チャッキラコ」奉納の報告について	
63	令和2年三浦市成人の日のつどい開催結果について	
64	三浦市社会教育講座 やさしく学ぶ仏像講座～古寺・名刹と仏像～の開催について	
65	三浦市社会教育講座 工芸講座～おひな様アレンジ～の開催について	
66	三浦市社会教育講座 料理講座～キャベツを使った料理～の開催について	
67	令和元年度三浦市立小学校及び中学校の卒業式について	2月17日
68	第23回三浦市学校給食展の開催結果について	
69	第38回三浦国際市民マラソンの開催について	
70	第74回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について	
71	みうらっ子ライブラリー はっせのおはなし会の開催について	
72	三浦市社会教育講座 親子農業体験教室の開催について	
73	三浦市社会教育講座「サタデーボックス」子ども将棋教室の開催について	
74	三浦市社会教育講座「サタデーボックス」したうら子ども囲碁教室の開催について	
75	三浦市社会教育講座 子ども料理教室～さくさくスイートポテトパイを作ろう～の開催について	
76	第38回三浦国際市民マラソンについて	3月26日

3 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議以外にも、教育委員会委員は、様々な教育関係の活動を積極的に行っています。教育関係行事への参加、学校訪問、会議への出席など、その主なものは次の表 14 のとおりです。

【表 14：教育委員会会議以外の活動状況】

番号	月日	活動等の名称	活動内容	区分	所管課
1	5月12日(日)	第22回わんぱく相撲三浦場所	若宮相撲場にて開催の「わんぱく相撲三浦場所」の開会式に出席	式典	文化スポーツ課
2	5月19日(日)	派遣生選考試験審査及び三浦市青少年姉妹都市国際交流実行委員会(第1回)	委員として出席	審査会	青少年教育課
3	5月25日(土)	岬陽小、名向小、南下浦小、上宮田小、旭小、剣崎小、初声小運動会	学校訪問	事業参加	学校教育課
4	6月3日(月)～6月8日(土)	三崎中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
5	6月3日(月)～6月9日(日)	南下浦中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
6	6月4日(火)～6月8日(土)	初声中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
7	6月11日(火)～6月14日(金)	岬陽小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
8	6月12日(水)～6月14日(金)	名向小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
9	6月13日(木)～6月15日(土)	三崎小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
10	6月17日(月)～6月21日(金)	初声小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課
11	6月27日(木)	第1回三浦市総合教育会議	委員として出席	会議	教育総務課
12	7月5日(金)	三浦市教育懇談会	令和元年度三浦市教育懇談会に出席	懇談会	教育総務課
13	7月5日(金)	三浦市青少年問題協議会	委員として出席	会議	青少年教育課
14	7月12日(金)	三浦市・ウォーナンブール市青少年親善パーティ	主催者として列席	式典	青少年教育課
15	7月24日(水)	三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価事業別ヒアリング	三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価に関する有識者との合同の事業別ヒアリングに出席	会議	教育総務課
16	7月30日(火)	ウォーナンブール派遣生壮行会	委員として出席	事業参加	青少年教育課
17	7月31日(水)	須坂市交流事業「合同宿泊」	交歓会に出席	事業参加	青少年教育課
18	8月22日(木)	ウォーナンブール派遣生報告会	委員として出席	事業参加	青少年教育課
19	9月14日(土)	三崎中、南下浦中、初声中体育祭	学校訪問	事業参加	学校教育課
20	9月28日(土)	三崎小 運動会	学校訪問	事業参加	学校教育課
21	10月1日(火)	三浦市青少年問題協議会地区大会	委員として出席	事業参加	青少年教育課
22	10月2日(水)～10月5日(土)	旭小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学校教育課

番号	月日	活動等の名称	活動内容	区分	所管課
23	10月18日(金)	三崎中 文化祭	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
24	10月18日(金)	南下浦中 合唱祭・文化祭	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
25	10月18日(金)	初声中 文化祭	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
26	10月15日(火) ～10月18日(金)	三崎中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
27	10月15日(火) ～10月18日(金)	南下浦中 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
28	10月21日(月) ～10月25日(金)	南下浦小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
29	10月21日(月) ～10月25日(金)	剣崎小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
30	10月23日(水) ～10月26日(土)	岬陽小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
31	10月24日(木)	学校保健大会	講演会を傍聴	事業参加	学 校 教 育 課
32	10月26日(土)	初声小 130周年全校集会	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
33	11月10日(日)	第25回三浦市城ヶ島駅伝競走大会	城ヶ島島内にて開催の「城ヶ島駅伝競走大会」の開会式に出席	式 典	文化スポーツ課
34	11月18日(月) 19日(火) 20日(水) 21日(木)	学校訪問	小学校8校、中学校3校を訪問。主な取り組み等について説明を受け、校内を視察した。	学校訪問	教 育 総 務 課
35	11月21日(木) ～11月23日(土)	名向小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
36	11月27日(水) ～11月30日(土)	上宮田小 学校へ行こう週間	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課
37	12月18日(水)	第2回三浦市総合教育会議	委員として出席	会 議	教 育 総 務 課
38	令和2年 1月13日(祝・月)	成人の日のつどい	主催者として列席	式 典	青 少 年 教 育 課
39	2月 1日(土)	学校給食展	給食展を見学	事業参加	学 校 給 食 課
40	2月 8日(土)	海洋教育こどもサミットinみうら	学校訪問	事業参加	学 校 教 育 課

IV 教育委員会総合所見

○義務教育に関すること

小学校での英語の教科化、プログラミング教育、タブレットの導入等、社会の変化や、令和2年度より新しくなった学習指導要領により、教育は大きな変化の時を迎えています。一方、子供の貧困、学力の格差等、学校の抱える問題は多様になってきています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で休校になり、家庭学習の大切さを感じるとともに、オンライン授業の導入を検討するような時になっています。人と人との交流が難しい時ではありますが、この機会に児童生徒の未来を生きる力や学ぶ力の向上が図られることを願います。

三浦市学校教育ビジョンの取り組みを進めるにあたり、地域・保護者の理解を深め、一人ひとりの持つ個性が受け入れられ、発揮できる環境を整えてください。

小中一貫教育が三浦市の学校教育の大きな魅力の一つとなるような準備を期待します。

○生涯学習に関すること

高齢化社会の中、興味があることを学習し続けることは、自己を磨き、心の豊かさや生きがいを感じ、楽しい人生を送るためにとても重要なことです。社会教育講座は参加率も高く、市民の関心は高いと考えられます。

価値観の多様化している中、市民のニーズに応え、様々な場や機会からの選択肢を増やしていくとともに、中学校卒業後も参加し学びを継続できるよう、国際理解教育、郷土学習、海洋教育など、事業の広がりを期待します。

令和元年度は前年度より2講座多い37講座を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされ残念でした。今後も感染予防に努めながら、市民の教養を深められるような社会教育講座の提供を望みます。

○青少年に関すること

新型コロナウイルス感染症の影響は、青少年の将来を左右するほど大きなものです。時代の大きな変革期において、未来を担う青少年一人ひとりが自分の特性を理解し、伸ばすことができ、学歴だけでない評価の中で自分の価値や意欲を見つけられる社会であってほしいと思います。

また、三浦市内に若者が定住するためには、地域を愛する心を育むことが重要です。三浦は小さい市ゆえに目が行き届き、寄り添うことが可能です。郷土

の行事、祭礼等に参加するなど、青少年が地域の中で活躍、貢献できるような町づくりを進めることも必要であると思います。

○社会体育に関すること

生涯スポーツをし、人とのつながりを持つことは健康、長寿の源といわれています。しかし、国が一億総スポーツ社会を掲げる中、スポーツ人口は減少傾向にあります。現代の生活スタイルの変化や人口減等が原因にあるとは思いますが、健康増進のため、または地域の人たちとの交流を深め、社会から孤立しないためにも、スポーツをとおした交流は必要です。また、子どもたちが小さい頃から身体を動かす楽しさや達成感に触れる場があることも大切です。

教育委員会には参加者数や競技人口の多寡にかかわらず、等しくサポートをお願いするとともに、より一層の推進に向けたアイデアや活動を期待します。

○給食に関すること

三方を海に囲まれ、農作物も全国有数の土地柄を活用した地産地消のメニュー開発や、きめ細かいアレルギー対応など、三浦市の給食は子どもたちにとっても恵まれたものであり、とても評価できることです。

給食はお腹を満たすだけでなく、食の豊かさや喜び、学びを得られる貴重な時間です。献立や調理は大人目線だけでなく、子どもたちの目線も反映していただきたいと思います。これからも衛生管理を最優先に、三浦愛を育んでいく美味しい給食の提供を期待します。

○教育委員会全般に関すること

世界中を襲った新型コロナウイルス感染症の影響は、教育関連においても避けることはできず、今後も事業運営にのしかかってくると予想されます。また、子どもたちも多大なる環境の変化を強いられ、休校や相次ぐ行事の中止等で、心が傷ついていると思われます。

当たり前だと思っていたことを見直せる機会でもあります。教育委員会が先頭に立ち、子どもたちの心のケアに気を配りながら、学校への更なるサポートをお願いします。

小学校教育環境適正化事業については、三浦市学校教育ビジョンの地域での理解を深めるため、感染防止に努めつつ、市民説明会の開催に尽力してほしいと思います。一人でも多くの方の理解と信頼を得ながら、ビジョンの具現化が着実に進み、三浦の子どもたちにとって素晴らしい学習環境が構築されることを願います。

令和2年度（令和元年度実施事務事業）
三浦市教育委員会所管事務事業
点検・評価報告書

発行日：令和2年8月28日

編集：三浦市教育委員会 教育部 教育総務課

発行：三浦市教育委員会

〒238-0298 三浦市城山町1番1号

TEL:046-882-1111(代)/FAX:046-882-1160

E-mail:kyoui0101@city.miura.kanagawa.jp